

白金自然休養林

上川中部森林管理署

【白金自然休養林の特徴】

北海道の中央に位置する大雪山系には、標高 2,000m 級の山々が連なり、雄大な山岳景観を誇ります。その広大な山塊の南西に位置する十勝岳連峰の主峰・十勝岳（標高 2,077m）は、数多くの噴火記録を持ち、学術的にも貴重な泥流跡地や火口群を観察することができます。これまでの噴火の歴史を示す大小の火口の中でも、「62-2 火口」などでは、現在も活発に白い噴煙を上げています。

このような活火山・十勝岳の中腹から山麓（標高約 500m～1,000m）に位置する白金自然休養林は、「森林を主体とした風景に優れた地域であり、自然休養の場として、保健・文化の面で寄与する」ことを目的に、1971 年（昭和 46 年）に設定されました。

面積は 946.10ha で、自然観察教育ゾーン（147.51ha）・森林スポーツゾーン（318.76ha）・野外スポーツゾーン（23.50ha）・風致探勝ゾーン（456.33ha）の 4 つに分かれており、自然観察、森林浴、キャンプ、トレッキング等の機会を提供しています。

本休養林の森林は、過去の火山活動による泥流跡地が各所に見られ、アカエゾマツやダケカンバなどの針広混交林が広がっています。また、泥流跡地に再生したアカエゾマツやシラタマノキなどの二次植生を保護・管理し、学術研究などに資することを目的として、「十勝岳泥流跡地植生希少個体群保護林」が隣接地に設定されています。



原生林遊歩道

【楽しみ方】

白金自然休養林は、前述のように 4 つのゾーンに分かれており、子どもから大人まで楽しめるスポットです。各ゾーンには遊歩道が整備されており、四季折々の自然の彩りの中でレクリエーションを楽しむことができます。

見上げれば、十勝岳、美瑛岳、美瑛富士などの山並が広がり、雄大な山岳美を堪能できます。また、十勝岳の「望岳台」からは、十勝岳山頂を起点に、美瑛岳方面や富良野岳方面への縦走登山にもチャレンジできます。

冬季は閉鎖されますが、森林スポーツゾーンには野営場、ケビン、炊事場、トイレなどが整備されており、訪れる人々の憩いの場となっています。

さらに、エリア内およびその周辺では、年間を通じて山岳・ネイチャーガイドを実施している団体もあり、豊富なメニューを通じて季節に応じた森林体験や絶景ポイントを楽しむことができます。



白髪の滝



国設白金野営場内の様子



国設白金野営場内のケビン

《国設白金野営場施設情報》

○開園期間：5 月下旬～10 月上旬

○利用料金：

キャンプ（13 時～翌 12 時）大人 400 円 小人 200 円
デイキャンプ（9 時～17 時）大人 300 円 小人 150 円
ケビン（13 時～翌 10 時）1 棟 3,600 円（4 人用）

○駐車場：約 30 台（無料）

○お問合せ先：白金野営場管理棟

電話：0166-94-3209